

議事録（概要）

会議名	令和5年度 第1回芦屋町環境美化推進委員会					
会場	芦屋町役場3階 第32会議室					
日時	令和5年8月30日（水） 15:30～16:15					
委員の出欠	会長	福原 光次	出	委員	重岡 義成	欠
	副会長	山田 寛	出	委員	荻堂 幸男	出
	副会長	森 真奈美	出	委員	六田 てるよ	出
	委員	田中 勉	出	委員	藤谷 裕一	出
	委員	豊岡 正幸	出			
件名・議題	<p>1. 事務局挨拶 事務局から挨拶を行った。</p> <p>2. 委嘱状の交付 代表して福原委員へ委嘱状を交付した。 委嘱期間は令和5年4月1日から令和7年3月31日まで。</p> <p>3. 会長・副会長の選出 委員からの推薦がなかったため、事務局より、福原委員を会長、山田委員・森委員を副会長とする案を提出し可決された。</p> <p>4. 議事 (1) 令和4年度決算報告について 事務局から説明を行った。主な内容は以下のとおり。 ・歳入は前年度繰越し分。 ・支出は視察研修にかかった費用。 ・残額については、町の予算へ繰り入れる。 委員からの質問・意見等はなく、議事については承認された。</p> <p>(2) 芦屋町環境美化推進委員会設置条例について 事務局から説明を行った。主な内容は以下のとおり。 ・令和5年度より条例に基づく附属機関となったことにより、委員へ規定に基づき、報酬・費用弁償が支払われることになった。 ・従来の環境美化推進委員会の所掌事務に加え、飼い主のいない猫の対策に関することが加えられた。 委員からの質問・意見等はなく、議事については承認された。</p>					

(3) 今後の活動について

事務局から説明を行った。主な内容は以下のとおり。

① 飼い主のいない猫に関することについて

芦屋町における飼い主のいない猫の状況、ボランティアさんの活動及び今後の施策について事務局より説明を行った。

・意見等については、以下のとおり。

(委員) 飼い主のいない猫と飼い猫の区別がつきにくく、飼い猫を捕まえて不妊手術してしまうと苦情に繋がる。

(委員) 犬と一緒に首輪をつけていただかないと。また、現在芦屋町で活動されているボランティアさんの人数は、何名か。

(事務局) 基本的に飼い猫は室内飼育を呼び掛けている。また、町内で活動されているボランティアさんは3名となっている。

(委員) その中で活動されている方と話したことがあるが、手術にかかる費用を手出ししていると聞いた。説明の中にあっただろうぶつ基金から費用が今後出るようになるのか。

(事務局) 現状もどうぶつ基金のさくら猫事業に参加させていただいているが、行政枠で申請し、配当いただける枠というのは、どうぶつ基金によって決められるため、必ずしも申請した頭数分の枠がもらえるわけではないため、配当されなかった分はボランティアさんの負担により不妊手術がなされている。

(委員) 3、40匹捕まえても、費用がかかるので、獣医と相談して、メスのみ不妊手術を行っているという話も聞いている。

自分で捕まえ、不妊手術を行い、里親探しまで行っている。これは大変すごいことを行っていると思う。

こういった方の支援を今後していかないとと思う。

(委員) 猫の話とは別だが、このところ、犬のフンの放置にも困っている。特に公園は草が伸びているとその中によく放置されている。さらに歩道上でも放置されていることがあり、学校に登校中の子どもたちが踏んでしまっているのを見たことがある。役場から看板を設置してもらっている

が、なかなか改善されない。

(委員) 野良猫はよく見るが、野良犬は多いのか。

(事務局) 野良犬は今はほとんどいない。飼い犬が脱走し保護したことは何度かある。

飼い犬で、飼い主がフンを持ちかえていないと考えている。片付けない飼い主のモラル・マナーの話になる。

(委員) 確かに、片付けるものは持っていますが、フンは持って帰ってないのを見たことがある。

(事務局) こちらについても、環境美化・衛生の関係から、所掌事務となっている。行政としても対策を考えていかなければならない課題であると考えている。

(委員) 見せかけでフンを持っていかなかったり、個人宅の門などに尿をかけたままにしている飼い主をみかける。やはり、飼い主の問題であると思う。

(事務局) 飼い主に対するマナーアップについても、広報等を用いて継続して啓発を行いたいと考える。

②ごみネットについて

町内に設置してあるごみステーションについて、野生動物等の被害などが見受けられるため、事務局から新たなネットの活用について提案した。

・意見等については、以下のとおり。

(委員) 自分が住んでいる地区では、金網のボックス型のごみステーションを設置している。ただし、網目が大きいため、別途、ネットを使用して対策を行っている。ごみステーションの設置には、住民の理解と協力も必要になると思う。

あとは、収集の際に手間にならないだろうか。

(事務局) ご提案した袋型ごみネットを設置している箇所が2ヶ所あるが、収集業者からは、特段支障はないと聞いている。また、現状金網のボックス型のステーションが設置できない地域も多くあり、ごみネットを平置きしている状況がほとんどである。この場合、ネットの隙間から野生動物等が侵入し、ごみを荒らしている。ステーションによっては、レンガなどを置いて対策をされているが、雨の日などに傘を持って、レンガ等を退けてネットをかけたり、金網のボ

ックス型ステーションの蓋には、ダンパーもついておらず、重量もあるため、開閉するには、お年寄りには大変ではないかと考える。

このため、提案した袋型ごみネットの使用をご検討いただきたいと考えている。

(委員) 価格はどのくらいになるのか。

(事務局) 1つ 4,000 円～4,500 円である。

(委員) 袋型になると、チャックを開閉しなければならないため、面倒ではないか。

(事務局) 袋の入り口はネット上部にあり、チャック部分に紐をつけて持ちやすくするなどの工夫をしている。被害軽減のためにも、袋型ネットへ入れていただければと考える。

(委員) 事務局のほうで試作している別の手作りのネットをみた。これであれば、4,000 円程度の費用もかけずに、袋型ネットを作ることができる。こちらについてはどうか。

(事務局) 非常に簡単で大人 1 人 5 分程度で作成できるもので、区長会で購入しているネットと同規格の 3m×4m のものを袋状にしたものである。先ほどご提案した市販のものよりも多くのごみ袋を収容でき、かつ、設置する場所に応じて、大きさがある程度調整できるものとなっている。金網のボックス型ステーションが置けない場所にもお使いいただけるものであると考えている。

(委員) ボックス型のステーションとなると、道路や歩道を占有することになり、条件によっては設置できない。提案のあったネットであれば、完全に占有せず、すぐに撤去もできるので良いかと思う。

(委員) ごみステーションの話ではないが、ポイ捨てされたごみが散乱している状況をよく見る。地域で見守りや清掃を行ってはいるが、いつも袋いっぱいになる。以前は、小学生たちが登校中に清掃ボランティアを行っていたが、コロナ禍になってから、活動されていない。そういった部分についても、環境を良くしていくうえで考えていただきたい。

(事務局) 学校における清掃ボランティアについては、ご意見として承り、関係部署へ伝えておく。

